

とどろき

田検小学校だより
令和5年12月21日(木)
宇検村立田検小学校

行きたい学校 帰りたい家庭 そして、住みたい地域

学校長 平山 晋

12月3日(日)に、第26回宇検村 PTA 活動研究大会が開催されました。「学校・家庭・地域の絆や連携を活かした PTA 活動の取組はどうあればよいか」という活動研究テーマを掲げ、各学校の PTA 活動が発表された後、グループごとにテーマに関連した情報や意見の交換が行われました。(詳しくは、PTA 会員の皆様に配布された研究誌を御覧ください。)参加者からは、「他校の情報が大変参考になった。」と好評でした。

そして、その後、中村洋志氏(元南九州市教育委員会教育長、現天文館てん保育園長)による講演が行われました。「時代を創り、次代を担う子どもたち ~自己肯定感が原動力になる~」という演題で、未来を拓く子どもたちとどんな風に向き合って子育てをしたらよいかというお話をしてくださいました。とても素晴らしい内容でしたので、その一部を要約して紹介させていただきます。

○ すごい速さで大きく変わっていく時代(世界)に、子どもたちは、はばたいていかなければならない。そのために、人を思いやる心や他者との協調性などの「人間力」をこれまで以上に磨く必要がある。

○ 「みんな違って、みんないい」という認識が必要。人にはそれぞれ個性がある。だから、間違った発表も素晴らしい。間違いは、他の子への影響が大きく効果的である。

○ 「困った子」ではなく「困っている子」と捉えるべき。困っている子は、誰にも相談できずにいるのかもしれない。困らないような手立てを講じることが大切。教師は教え方の研究をし、親は相談しやすい環境づくりをしなければならない。

○ 育てたように子は育つ。親の背中を見せるためには、子どもと真正面から向き合うことが大切である。親や教師は子どものよきモデルに。いい親(教師)になることは難しいが、いい親(教師)になろうと努力することは「今」からでもできる。その努力する姿を子どもは尊敬する。

○ 人は、誰か一人でも認めてくれる人がいると生きていける。これが、「0」になってしまうとだめになる。

○ 自尊感情とは、自分や他者を自然に尊ぶ感情のことで、子どもなりにこの能力をもっていることを大人が理解することが大切。「この子は頑張る子なんですよ。」と本人の前で他者に話すことや、子どもがしたことに対して「うれしい。」とか「助かった。」などと返すことで、自尊感情が育まれる。

○ 子育ては期間限定。一生のうちで育児ができるなんて恵まれている。子育ての環境は、子どもに関わるみんなの力で作り上げていくべき。特に、父親の参画は必要不可欠である。母親は、「大丈夫よ。」と子どもを包み込む存在であってほしい。地域には、子育て真っ最中の親を支え合っている社会づくりが求められている。

○ 家庭が子どもの安全基地であれば、子どもは安心して挑戦し、仮にうまくいなくても、また体を休め、何度でも立ち上がることができる。

などです。まだまだたくさんありましたが、紙面の関係で全てをお伝えできないのが残念です。講演の締めくくりとして、「行きたい学校、帰りたい家庭 そして、住みたい地域」(現在宇検村に住んでいること、宇検村内の各学校で学んでいることを誇れる子どもを育てること)をめざしてくださいとお言葉をいただきました。講演会場の皆さんは、うなずきながら聞き入っておられました。

子育てについて多くの示唆を与えてくださる心に残る講演でした。今後の学校経営に活かしていきたいと思えます。保護者の皆様も、子育てにぜひお役立てください。

さて、2学期も終わりを迎えました。多くの場面で、大変お世話になりました。ありがとうございました。この2学期中に、子どもたちは、いろいろな場面で精一杯頑張る姿を見せてくれました。終業式の日、ご家庭でもお子さんの学習面・生活面・保健面等でのよさや努力、伸び等を褒めてあげてください。認めていただくことで自信をも

ち、より一層成長していくと思います。よろしくお願いいたします。

最後になりますが、新しい年、令和6年が皆様にとって幸多き年となりますように御祈念申し上げます。どうぞ良いお年をお迎えください。3学期の始業式の日(1月9日<火>)に、新年の希望に燃え、元気に登校してくる子どもたちを、職員一同楽しみに待っています。

輝け田検っ子！子どもたちのがんばりを紹介します。

第13回田中一村スケッチコンクール

入選 肥後 皇誠さん(5年)

入選 三谷 日洋さん(6年)

第8回南さつま市「日新公いろは歌」短歌大会

佳作 久保 聡祐さん(5年)

「はかまいり ごせんぞ様に 話したよ 心の中で いろんな事を」



1月の行事予定

- 1日(月)(祝) 元日
- 4日(水) 仕事始め、村成人式
- 5日(木) 村新春書き初め会
- 7日(日) 村消防出初め式(3~6年鼓笛隊参加)
- 8日(月)(祝) 成人の日
- 9日(火) 3学期始業式 司書来校
いじめ問題を考える週間(~13日)
- 10日(水) 身体計測(1,2年), 委員会活動 相談員来校
- 11日(木) 身体計測(5,6年), ALT来校
- 12日(金) C校時
- 13日(土) C校時, 土曜授業(3~6年シイタケ駒打ち体験)
- 14日(日) ウヤフジ感謝の日
- 15日(月) 相談員来校
- 16日(火) 鹿児島学習定着度調査(国・理 5年) クラブ活動
司書来校 硬筆教室(17:00~)
- 17日(水) 鹿児島学習定着度調査(社・算 5年) 相談員来校
- 18日(木) 身体計測(3,4年) ALT来校 家庭教育学級
- 19日(金) カルタ大会 中学校入学説明会(6年)
- 22日(月) 相談員来校 学校給食週間(~27日)
- 23日(火) クラブ活動(3年生クラブ見学) 司書来校
親子読書の日 交流給食
- 24日(水) C校時 交流給食 相談員来校
- 25日(木) ALT来校, 交流給食 親子読書会
- 26日(金) C校時
- 29日(月) 相談員来校 英検 ESG(6年)
- 30日(火) スクールカウンセラー来校 心の教室 司書来校
硬筆教室(17:00~)
- 31日(水) 田検小中合同研修会(本校), 5時間目授業 相談員来校



メディアとの付き合い方を考えよう

冬休みに入ると、自由な時間が増えます。それに伴い懸念されるのがスマートフォンやタブレットなどのメディア機器を使い、オンラインゲームや動画などにふれる時間が長くなることです。

それらの中には、年齢制限が設定されているものや子どもにとって有害な内容のもの、課金が必要なものもあります。また、通信機能を使って、知らない人とつながることにより、犯罪などに巻き込まれる危険性も指摘されています。さらには、長時間のメディア機器の視聴は、視力低下にもつながります。

本校では、これまで保護者の責任の下、使用時間等のルールを決めるよう呼びかけてきました。その成果もあり、先日家庭状況調査では、メディアの視聴時間も少なくなっています。

冬休みを前に、メディアとの付き合い方を再度、家庭でも話し合ってください。なお、昨年同様、タブレットの持ち帰りをさせますが、学習用としてのみ使用可能です。目的外の利用がないよう家庭でも子どもたちに声掛けをお願いします。

小・中合同ロードレース大会 令和5年12月9日(土)

全力で頑張る子どもたちへの温かいご声援、ありがとうございました。子どもたちにも励みになったようです。



1・2年生のスタートの様子



3・4年生のスタートの様子



5・6年生のスタートの様子



地域の皆さんも温かい声援を送っていただきました。

今大会の記録 (各学年 1位の児童)				☆は大会新記録				
1・2年の部 (1000m)		3・4年の部 (1500m)		5・6年の部 (2000m)				
1年男	時田健志	4分30秒	3年男	上林房蒼大	5分50秒	5年男	肥後皇誠	8分40秒
1年女	平音愛	5分00秒	3年女	平樹愛	7分35秒	5年女	屋宮萌愛那	9分57秒
2年男	元田謙信	4分20秒	4年男	竹下結人	6分37秒	6年男	三谷日洋	7分27秒
2年女	重山沙藍	☆4分29秒	4年女	碓元希歩	7分16秒	6年女	完走者なし	

☆2年女子 2位の松井ひなたさんも大会新記録でした。

家庭教育学級 令和5年11月30日(木)



奄美少年自然の家から講師をお招きして、ニュースポーツ「ピロポロ」の体験をしました。これは、ホッケーを誰でも楽しめるようにしたもので、シュートが決まると大歓声があがっていました。

食品寄贈 令和5年12月15日(金)



子ども食堂用として鹿児島こども食堂・地域食堂ネットワークから提供された食品が、宇検村連合青年団を通じ、子どもたちに寄贈されました。ありがとうございました。